

2026年2月4日

正会員（社員）各位

一般社団法人全日本硬式空手道連盟
代表理事会長 菊地 信弘

定時社員総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当連盟の定時社員総会を下記のとおり開催しますので、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

当日ご出席いただける場合は、本招集通知書をご持参ください。

当日ご出席いただけない場合は、添付書類をご検討いただき、同封の議決権行使書に賛否をご表示の上、2026年2月19日（木）午後5時までに事務局に到着するようEメール・ファクシミリ・郵送のいずれかでお送りください（当日ご出席いただける方のご提出は任意です）。

敬具

記

1. 日 時 2026年2月21日（土）午後3時30分（受付開始 午後3時00分）
2. 場 所 東京都千代田区外神田 1-1-8 東芝万世橋ビル
TKP 秋葉原カンファレンスセンター

※総会終了後、同じビルで懇親会を行います（会費7千円）

3. 目的事項

- | | |
|------|------------------------|
| 報告事項 | 2025年度事業報告の件 |
| 決議事項 | 第1号議案 2025年度収支決算報告承認の件 |
| | 第2号議案 2026年度事業計画の件 |
| | 第3号議案 2026年度収支予算の件 |

以 上

添付書類

報告事項

2025 年度事業報告の件

1. 組織の概況

- 2026 年 1 月 31 日時点での正会員数は 97 名です（前年比▲10 名）。正会員名簿については、「報告事項別紙①」をご参照ください。
- 役員の様子は以下のとおりです。

代表理事会長	菊地 信弘
代表理事会長代理	山脇 研吾（専務理事兼務）
副会長	桃井 敏行
常務理事	中村 誠、川井 利浩、今井 弘希
理事	竹下 俊、遠藤 淳一、大沼 順、高内 規夫 辻本 直仁、鷲崎 瑞紀、下田 宗延、奈良 一茂
監事	八木 延好、川野 こずえ

- 地区連盟の一部で代表者の交代がありました。現状は以下の通りです。

地区連盟	代表者（会長）
東北硬式空手道連盟	大沼 栄広
関東甲信越硬式空手道連盟	福島 洋二（新任）
近畿中国四国硬式空手道連盟	辻本 直仁（新任）
中部硬式空手道連盟	中村 誠
全九州硬式空手道連盟	桃井 敏行

- 2026 年 1 月 31 日時点の都道府県連盟数（含 設立準備室数）は 21（前年比±0）です。
- 各地区連盟・都道府県連盟にご協力いただき、当連盟加盟団体の状況調査を実施しました。その結果、加盟団体は 108 団体、各団体の会員の総合計は 4,318 名でした。詳細は、「報告事項別紙②」をご参照ください。

調査基準日	2024/10/31	2025/11/30	増 減
団体数	95	108	+13
会員数	4,301	4,318	+17

※会員数は実働ベース。指導者を含み、休会者は含まない。

2. 大会関連

- 2025年8月23～24日に「2025：第39回全日本硬式空手道選手権大会」（以下「第39回全日本大会」）を国立代々木競技場第二体育館で開催しました。地区大会・都道府県大会等の予選を経て選抜された69団体579名（形・組手競技延べ選手数は682名）が出場し、大盛況のうちに幕を閉じました。
- 同大会では、日本スポーツ振興基金より419万円の助成金を受け、審判員や運営スタッフの方々への謝礼金や会場使用料、メダル代などの諸費用に充当しました。
- 各地域連盟や加盟団体が主催する大会にも積極的に協力いたしました。各種大会を含む2025年度活動実績は、「報告事項別紙③」をご参照ください。

3. 専門委員会の活動状況

（1）審判委員会

- ・ 2025年2月16日に全国審判講習会兼公認審判員資格認定試験を実施しました。
- ・ 各地区・都道府県連盟主催の審判講習会にも協力し、その結果、多数の審判員がランクアップし、新たな公認審判員も誕生しました。
- ・ 各地区・都道府県大会にも審判員を派遣し、各大会の成功に貢献しました。
- ・ 2025年6月14日付で、審判規程を一部改訂しました。改訂のポイントは、実際の運用に規定を合わせたこと（実質的な変更なし）、及び審判員資格の年齢・空手歴を引き下げ、若手審判員の育成・充実を図ったことです。これに伴い、ルールブックの改訂版も発行しました。
- ・ 組手団体戦の競技運営細則を制定しました（「報告事項別紙④」ご参照）。
- ・ 全国A級審判員の中でも特に実力のある方6名をA+審判員と認定し、A級審判員以下の指導に当たっていただくことにしました。

（2）大会企画調整委員会

- ・ 第39回全日本大会の開催を主導しました。今回は、マナー面も重視し、役員・審判員・観客に対する留意事項の周知徹底、IDカードの導入による試合場フロアへの立ち入りチェック等を実施しました。その結果、大会を整然とスムーズに進行させることができました。
- ・ チャンピオンタペストリー、YouTube配信、キッチンカーなど、大会を盛り上げる工夫も行い、大変な好評を博しました。

（3）広報委員会

- ・ ホームページ、Facebookを更新し、当連盟の活動状況を広く発信しました。第39回全日本大会に際しては、新しい試みとして、ホームページトップに会長のメッセージ動画をアップし、選手・関係者の士気を鼓舞しました。

- ・ 第 39 回全日本大会のポスターをデジタル化することにより、コストを抑えるとともに、多方面への PR を強化しました。

(4) アライアンス委員会

- ・ マーシャルワールド社と交渉し、現在、拳サポーターに留まっている当連盟へのロイヤリティを、面・胴に拡大することについて、ほぼ合意しました。
- ・ さらに同社に対し、当連盟指定レッグサポーターや、選手の拳を保護するインナーナックルガードの開発を依頼し、完成を見ました（詳細後述）。

(5) コンプライアンス委員会

- ・ 第 39 回全日本大会で観察された評価すべき点、改善すべき点を取り纏め、理事会に報告しました。
- ・ 報告の中には、必ずしもコンプライアンス案件とはいえないものも含まれておりますが、次回の全日本大会やその後の世界大会の運営に役立つものと思われま

(6) 女性委員会

- ・ 2025 年 7 月 20 日に千葉県浦安市で第 4 回女性委員会講習会を開催しました。今回は、対象者の年齢を小学高学年まで引き下げたほか、男性ユース審判員にも加わってもらい、試合形式を含めた有意義な稽古を行うことができました。

(7) 段位認定委員会

- ・ 全硬連公認段位制度に基づき、各地区・都道府県連盟の主要役員を対象とした 4 段以上の公認段位審査を実施しました。今回は書類審査形式としましたが、過去の大会実績や連盟への貢献度等を総合的かつ厳格に審査しました。その結果、28 名の方に対し、公認段位が授与されました（8 段 2 名、7 段 3 名、6 段 11 名、5 段 12 名）。
- ・ 今年度からは、各地区・都道府県連盟による審査も実施いただくべく、審査ガイドラインを策定しました（詳細後述）。

4. 連盟協賛金の状況

- 企業・地区連盟・都道府県連盟・会派・個人からの連盟協賛金は 126 万円にのぼりました。協賛広告は、第 39 回全日本大会パンフレットと連盟ホームページに掲載いたしました。
- 協賛者の詳細は「報告事項別紙⑤」をご参照ください。

以 上

決議事項

第1号議案 2025年度収支決算報告承認の件

➤ 2025年度収支決算報告につきましては、「第1号議案別紙①②」のとおりであります。

第2号議案 2026年度事業計画の件

1. 役員・専門委員会体制

➤ 以下の体制で臨みたいと考えます。

<役員>

代表理事会長	菊地 信弘
代表理事会長代理	山脇 研吾（専務理事兼務）
副会長	桃井 敏行
常務理事	川井 利浩、今井 弘希
理事	中村 誠、竹下 俊、遠藤 淳一、大沼 順、高内 規夫 辻本 直仁、鷺崎 瑞紀、下田 宗延、奈良 一茂
監事	八木 延好、川野 こずえ

※現常務理事の中村誠氏は、仕事等の事情により、残りの任期は非役付理事として活動します。

<専門委員会>

審判委員会	統括委員長：川井 利浩 地区委員長：大沼 順、山崎 英則、長瀬 憲 委員：下田 宗延、遠藤 淳一
大会企画調整委員会	委員長：今井 弘希 副委員長：大内 央 委員：塩澤 健太、羽山 將太
広報委員会	委員長：竹下 俊 副委員長：鶴本 貴祐
アライアンス委員会	委員長：辻本 直仁 委員：菅 将裕、吉武 敦巳
コンプライアンス委員会	委員長：遠藤 淳一 副委員長：下田 宗延
女性委員会	委員長：鷺崎 瑞紀 委員：奈良 絢花、水村 春香、宮城 歩美 村西 めぐみ、川野こずえ（監査）

段位認定委員会	委員長 : 菊地 信弘 副委員長 : 山脇 研吾 審議委員 : 桃井 敏行、川井 利浩 一般委員 : 下田 宗延、奈良 一茂 (事務局)
事務局	局長 : 高内規夫 次長 : 奈良一茂 局員 : 大内 央、小田高良

2. 公認大会指定サポーターの追加導入

- アライアンス委員会の依頼に基づき、マーシャルワールド社が新たに開発したレッグサポーターとインナーナックルガードを当連盟公認大会指定サポーターと位置付け、普及させたいと考えます。
 - (1) レッグサポーター：ベロクロタイプで着脱が容易。足甲部分に当連盟のロゴを印字。
⇒公式大会での使用を必須としたい。第40回全日本大会から施行。
 - (2) インナーナックルガード：選手の拳を保護する目的で、拳サポーターの内側に着用するもの。⇒公式大会での任意使用を認めたい。第40回全日本大会から施行。
- ※「第2号議案別紙①②」ご参照。なお、両商品ともマーシャルワールド社から一定のロイヤリティを受領します。

3. 第40回全日本硬式空手道選手権大会開催

- 「第2号議案別紙③」の要綱案のとおり、開催したいと考えます。

4. 全硬連公認段位制度の本格実施

- 公認段位制度の本格実施を進めるに際し、昨年ご承認いただいた制度案の一部を改定したいと考えます。また、各地区・都道府県連盟が審査を行うためのガイドラインを策定しました。詳細は、「第2号議案別紙④」をご参照ください。

5. 各地域連盟・加盟団体活動の支援

- 各地域連盟・加盟団体主催の大会・審判講習会等の行事について、引き続き支援してまいります。行事の予定については、「第2号議案別紙⑤」をご参照ください。

第3号議案 2026年度収支予算の件

- 「第3号議案別紙①②」のとおりであります

以 上

報告事項別紙①

一般社団法人全日本硬式空手道連盟 正会員名簿(50音順)

2026年1月31日時点

No	氏名	都道府県	会派	No	氏名	都道府県	会派
1	赤坂 信行	宮城県	剛武館	51	高橋 正通	宮城県	剛武館
2	安部 俊伯	福岡県	誠英学舎	52	竹下 俊	大分県	正友会
3	荒木 功	茨城県	八勝会	53	竹花 哲也	岡山県	唯心会
4	有賀 正孝	愛知県	龍成塾	54	竹本 聡	東京都	空心会
5	井草 仁	埼玉県	修仁館	55	田中 真弥	福岡県	空真会
6	石垣 裕二	福島県	百足道場	56	為我井 英樹	茨城県	力将
7	井田 裕厳	福岡県	拳志会	57	千葉 幸二郎	宮城県	剛武館
8	稲付 洋平	鹿児島県	真輝塾	58	辻本 直仁	大阪府	仁昇流
9	今井 弘希	神奈川県	承愛館	59	土田 和行	東京都	兼清流
10	岩田 浩	東京都	上智大学空手道部	60	鶴田 勝	神奈川県	励武塾
11	内海 秀樹	神奈川県	神奈川輝志会	61	鶴本 貴祐	熊本県	正流拳
12	梅原 輝行	熊本県	壺心會	62	徳田 エリカ	福島県	菊地塾
13	榎木田 保	東京都	真錬会足立	63	長瀬 憲	熊本県	正流拳
14	遠藤 淳一	埼玉県	研修館	64	中原 正一	福岡県	空真会
15	大内 央	宮崎県	士学館	65	中村 秀郷	福岡県	曲家道場
16	大崎 宏明	高知県	新風塾	66	中村 誠	三重県	一心塾
17	大塚 将二稜	神奈川県	イーグル会	67	奈良 絢花	東京都	真錬会足立
18	大津 拳勝	宮城県	剛武館	68	奈良 一茂	神奈川県	無双塾会館
19	大沼 栄広	宮城県	拳聖	69	橋本 政和	茨城県	八勝会
20	大沼 順	宮城県	拳聖	70	秦 勝明	千葉県	真錬会
21	大沼 昌幸	宮城県	拳聖	71	八田 徹	神奈川県	誠永館
22	大橋 忠寛	千葉県	琉成會	72	浜田 仁示	神奈川県	心嘉会館
23	小川 修	埼玉県		73	浜辺 秀典	神奈川県	錬桜会
24	角田 宜優	神奈川県	浜風会	74	羽山 將太	東京都	FSA拳真館
25	川井 利浩	埼玉県	川井塾	75	原 慎司	大分県	創凜塾
26	川野 こずえ	埼玉県	錬誠館	76	久高 寛司	東京都	司一会
27	漢那 安教	千葉県	琉成會	77	久富 泰史	福岡県	拳武会
28	菅野 浄	宮城県	剛武館	78	福島 洋二	茨城県	八勝会
29	菊地 信弘	福島県	菊地塾	79	堀内 泰	愛知県	練心館
30	菊地 誠	福島県	菊地塾	80	堀 一洋	埼玉県	曲家道場
31	鯨井 功大	千葉県	真錬会	81	待鳥 栄二	福岡県	帝真會
32	熊田 大輔	福島県	純和会	82	三浦 一広	鹿児島県	奄美合気拳法連盟
33	小池 敦志	神奈川県	青風会館	83	味元 孝志	高知県	蓮久
34	神山 秀樹	埼玉県	尚武館	84	宮崎 裕爾	神奈川県	日本少林流空手協会
35	小城 和臣	鹿児島県	瀧雲塾	85	宮地 和英	広島県	煉翔会
36	小谷 博志	和歌山県	拳志朗塾	86	桃井 敏行	宮崎県	士学館
37	小林 広明	神奈川県	励武塾	87	八木 延好	千葉県	真錬会
38	齋藤 涼太	神奈川県	神奈川錬武館	88	山口 雄一	山梨県	円空会
39	佐伯 拳信	宮城県	剛武館	89	山崎 英則	三重県	新撰会
40	佐久間 清	埼玉県	錬武館武里	90	山脇 研吾	千葉県	真錬会
41	佐々木 宏	宮城県	剛武館	91	吉田 慎一	神奈川県	神奈川錬武館
42	佐々木 悠太	宮城県	剛武館	92	吉田 司	福島県	菊地塾
43	佐々木 由紀	神奈川県	勝空会	93	吉田 統光	愛知県	朋武館
44	佐藤 克彦	福岡県	神武会	94	若杉 栄一	神奈川県	関東道友会
45	清水 岳	福岡県	三浦道場福岡	95	若林 芳雄	埼玉県	錬誠館
46	下田 柔心	埼玉県	尚武館	96	鷺崎 瑞紀	神奈川県	承愛館
47	下田 宗延	埼玉県	尚武館	97	渡邊 基晴	大阪府	日本礼武会
48	白鳥 富美夫	埼玉県	勇誠会				
49	鈴木 康二郎	愛知県	武奏会				
50	高内 規夫	埼玉県					

報告事項別紙②

地区・都府県連盟別加盟団体数・会員数集計表

地区連盟	加盟団体数			会員数		
	2024/10	2025/11	増減	2024/10	2025/11	増減
東北	7	10	+ 3	575	625	+ 50
関東甲信越	46	52	+ 6	2,139	2,227	+ 88
中部	8	9	+ 1	413	465	+ 52
近畿中四国	13	13	+ 0	476	376	▲ 100
九州	21	24	+ 3	698	625	▲ 73
合計	95	108	+ 13	4,301	4,318	+ 17

都道府県連盟	加盟団体数			会員数		
	2024/10	2025/11	増減	2024/10	2025/11	増減
宮城県	3	6	+ 3	415	505	+ 90
福島県	4	4	+ 0	160	120	▲ 40
東京都	8	9	+ 1	150	232	+ 82
千葉県	4	5	+ 1	361	379	+ 18
埼玉県	9	9	+ 0	309	308	▲ 1
神奈川県	20	22	+ 2	1,062	946	▲ 116
茨城県	3	4	+ 1	205	307	+ 102
山梨県	2	3	+ 1	52	55	+ 3
愛知県	6	7	+ 1	311	372	+ 61
三重県	2	2	+ 0	102	93	▲ 9
大阪府	6	6	+ 0	340	193	▲ 147
和歌山県	1	1	+ 0	12	5	▲ 7
岡山県	2	1	▲ 1	28	17	▲ 11
広島県	1	2	+ 1	35	97	+ 62
香川県	1	1	+ 0	35	37	+ 2
高知県	2	2	+ 0	26	27	+ 1
福岡県	9	11	+ 2	243	159	▲ 84
大分県	4	4	+ 0	107	113	+ 6
熊本県	4	4	+ 0	138	138	+ 0
宮崎県	1	2	+ 1	140	125	▲ 15
鹿児島県	3	3	+ 0	70	90	+ 20
合計	95	108	+ 13	4,301	4,318	+ 17

2025年度 事業報告

月	日(曜日)	事業名	場所
1月	19日(日)	第23回風林火山全国国際武道空手道交流大会	国立代々木競技場第二体育館
2月	15日(日) 16日(日) 23日(日) 24日(日) 24日(日)	全硬連定時社員総会 全国審判員技術講習会・公認審判員認定試験 第6回審判技術講習会(兼)競技練習会 第3回三重県硬式道選手権大会 第13回全国総合空手道選手権大会	TKP秋葉原 台東リバーサイドスポーツセンター 保土ヶ谷公園体育館 四日市市三滝武道館 ニューライフアリーナ龍ヶ崎
3月	9日(日) 16日(日) 23日(日) 30日(日) 30日(日)	茨城県硬式空手道選手権大会 第1回神奈川県硬式空手道オープン交流大会 第17回全日本総合武道選手権大会 第36回西日本オープン硬式空手道選手権大会 第3回愛知県硬式空手道選手権大会	境町公民館 ひらつかサン・ライフアリーナ 福島県トヨタクラウンアリーナ 岡山武道館 名古屋市枇杷島スポーツセンター
4月	6日(日) 13日(日) 20日(日) 27日(日)	九州地区審判技術講習会及び公認審判員資格認定試験 第3回福岡県硬式空手道選手権大会 東京都審判講習会 第3回近畿中国四国地区硬式空手道選手権大会	ウイングまつばせ みやま市総合市民センター エネクルスポーツアリーナ草加 大阪府守口市市民体育館
5月	6日(月・祝) 11日(日) 24日(土) 25日(日) 25日(日)	第3回東京都硬式空手道選手権大会 第4回関東甲信越地区硬式空手道選手権大会 全四国高知硬式空手道選手権大会 25フルコン&硬式空手道グランドフェスティバル 第2回 チャレンジカップin福岡中部	東京武道館 Bumb東京スポーツ文化館 横波アリーナ 駒沢オリンピック公園体育館 太宰府市とびうめアリーナ
6月	1日(日) 1日(日) 8日(日) 8日(日) 29日(日) 29日(日)	第28回 熊本県硬式空手道選手権大会 関東甲信越地区審判講習会 中部地区審判講習会 第3回 鹿児島県硬式空手道選手権大会 第59回剛武館東日本空手道大会兼宮城県硬式空手道大会 第19回士学館杯ひむか空手道選手権大会	ウイングまつばせ バルドラール浦安 名古屋市露橋スポーツセンター 志布志市立有明小学校 宮崎県武道館
7月	6日(日) 6日(日) 27日(日)	第5回 大分県硬式空手道選手権大会 第2回東日本ジュニア硬式空手道選手権大会 第4回神奈川県大会準備委員会会議	大洲アリーナ剣道場 ニューライフアリーナ龍ヶ崎 横浜市泉区民文化センター
8月	3日(日) 23日(土) 24日(日)	第5回福島県硬式空手道選手権大会 第39回全日本硬式空手道選手権大会(組手個人戦) // (形個人戦・組手団体戦)	NCVふくしまアリーナ 国立代々木競技場第二体育館 //
9月	14日(日) 28日(日)	第4回宮崎県硬式空手道選手権大会 第3回埼玉県硬式空手道選手権大会	宮崎県体育館 ウイングハット春日部
10月	5日(日) 5日(日) 19日(日) 19日(日) 26日(日) 26日(日)	合戦～松橋の戦い～第9回正流拳体力別空手道大会 茨城県審判講習会・審判員資格認定試験 第3回茨城県硬式空手道選手権大会 第7回審判技術講習会 2025空真会武道空手道選手権大会 第25回全日本剛柔流空手道選手権大会	ウイングまつばせ 境町武道館 境町民体育館 厚木市ふれあいプラザ みやま市総合市民センター
11月	2日(日) 2日(日) 7日(日) 16日(日) 16日(日) 23日(日) 30日(日)	第4回中部硬式空手道選手大会 第1回モンスタートーナメント国際硬式空手道選手権大会 第3回大阪府硬式空手道選手権大会 全九州硬式空手道連盟合同練習・審判技術講習会 第4回神奈川県硬式空手道選手権大会 第27回東北硬式空手道選手権大会 第4回千葉県硬式空手道選手権大会	名古屋市志段味スポーツランド 平塚総合体育館 大阪府守口市市民体育館 宇城市 当尾小学校 神奈川県立武道館 福島トヨタクラウンアリーナ バルドラール浦安アリーナ
12月	7日(日) 7日(日) 14日(日)	第4回 全九州硬式空手道選手権大会 第4回古鷹杯少年少女防具付空手道大会 第14回全国総合空手道選手権大会	ウイングまつばせ 広島県 江田島市武道館 ニューライフアリーナ龍ヶ崎

報告事項別紙④

一般社団法人全日本硬式空手道連盟 組手団体戦競技運営細則

団体戦の勝敗の決め方 優先順で示す。

- ① 勝ち数が多いチームとする
- ②-1 勝ち数が同じ場合（1勝1敗1引き分け）⇒総得点の多いチームを勝ちとする。
総得点も同点の場合は引き分けの試合を再試合で勝敗を決める。
- ②-2 3試合とも引き分けの場合⇒代表戦で決する
* KOでの1本勝ちの試合は、5 - 0とする。

以下、試合運行手順

- ① 審判は主審を中央にして、場外所定位置に並ぶ。（個人戦と同じ）
- ② 出場する全てのチーム（選手）を整列させ、正面・審判団・お互いの順番で礼をする。
- ③ 選手を着座させ、審判団士の礼をして所定位置につく
- ④ 呼び出しスタッフが「赤〇〇チーム、青〇〇チーム」を呼び出す。
- ⑤ 選手は、赤・青の場外に3人ずつ整列する。
* 整列の順番は、主審に近い側から先鋒・中堅・大将の順に並ぶ
- ⑥ お互いに礼
- ⑦ 先鋒の選手はコート中央の外側に移動する。
- ⑧ 中堅と大将は下がって座る。
- ⑨ 主審の「選手中」の誘導にて先鋒がコート内に入り、お互いの礼の後試合が開始する。
- ⑩ 試合が終了し、勝ちコール又は引き分けコールを行う。
* 団体戦では、各試合終了後の「握手」省略する。

以下、大将まで試合を続ける。

* 団体戦は、勝ち数が多いチームを勝ちとするため、先鋒と中堅が2勝した場合
勝負は確定する。

この場合、大将戦を行う必要はないが、大将戦を行うか否かは大会毎に定める。

- ⑪ 大将戦が終了したら、試合開始と同様に赤・青それぞれ3人を整列させる。
- ⑫ 主審は、勝ち数を宣言し「赤又は青の勝ち」を手を上げて宣言する。
- ⑬ 赤・青のそれぞれの選手はコートの真ん中で対戦相手と握手し退場する。
- ⑭ 全ての試合が終了したら全選手は、場外所定位置に並ぶ。（個人戦と同じ）
- ⑮ 出場する全てのチーム（選手）を整列させ、正面・審判団・お互いの順番で礼をする。

審判委員会起案

2025年12月〇〇日施行

以上

報告事項別紙⑤

連盟協賛金一覧

種類	No	協賛者名	金額(円)
企業・団体	1	プラスワン・福島	450,000
	2	サンナ建装	50,000
	3	黒ひげや	50,000
	4	マーシャルワールド	50,000
	5	秦造形企画	20,000
	6	井草仁商事	20,000
	7	錬武会	10,000
地区連盟	8	関東甲信越地区	50,000
	9	中部地区	30,000
	10	近畿中国四国地区	30,000
都道府県連盟	11	神奈川県	50,000
	12	高知県	40,000
	13	千葉県	20,000
	14	香川県	10,000
会派	15	菊地塾	50,000
	16	剛武館	50,000
	17	拳聖	50,000
	18	真錬会	50,000
	19	八勝会	30,000
	20	道心館	30,000
	21	正真塾	30,000
	22	力将	20,000
	23	拳志会	20,000
	24	心嘉会館	10,000
個人	25	大沼 栄広	10,000
	26	菅野 浄	10,000
	27	吉澤 星舟	10,000
	28	羽山 威行	10,000
合計			1,260,000

監査報告書

一般社団法人全日本硬式空手道連盟の 2025 年度収支決算書及び
関係帳簿の提出を求め、監査したところ、合法且つ正確であることを
認めました。

2026 年 2 月 1 日

監事 八木 延好 

監事 川野 こずえ 

2025年度 収支決算書

(収入の部)

(単位:円)

項目	金額	内訳等
1. 年会費	1,070,000	○個人年会費 470,000 ○都府県連盟年会費 600,000
2. 連盟協賛金	1,260,000	○別紙
3. 事業収入		
①一般	1,581,840	○全国審判講習会 228,000 ○地域連盟認定証 54,000 ○女性委員会 19,840 ○公認段位認定料 1,280,000
②全日本大会	8,463,000	○参加料 3,709,000 ○助成金(JSC) 4,194,000 ○駐車料・懇親会費 560,000
4. 頒布品	367,320	○ルールブック 84,070 ○審判服・エンブレム 280,300 ○送料 2,950
5. 雑収入	496,559	○ロイヤリティ等 ・(株)マーシャルワールドジャパン 198,800 ・総会后懇親会参加料 294,000 ・利子 3,759
6. 前期繰越金	2,739,198	
収入計	15,977,917	

2025年度 収支決算書

(支出の部)

(単位:円)

項目	金額	内訳等
1. 事務費	105,601	○文具・消耗品等 48,646 ○各種事務処理費 56,955 ・登記費用・外注費等
2. 通信費	301,042	○郵送料等 103,042 ○ホームページ 198,000
3. 会議費	604,790	○会場使用料等 604,790
4. 事業費		
①一般	299,573	○全国審判講習会 277,593 ○女性委員会 21,980
②全日本大会	9,030,871	○会場使用料(含 駐車場) 1,395,220 ○審判員謝金 1,010,000 ○昼食費・懇親会費 949,900 ○審判員旅費 882,015 ○スタッフ謝金 785,000 ○メダル 469,810 ○参加賞 469,150 ○大会プログラム(パンフレット) 430,000 ○広告宣伝費(撮影・マガジン) 326,346 ○会場設営費(養生シート・マット) 282,700 ○警備費 225,720 ○横断幕・タペストリー 136,215 ○備品等・その他 1,668,795
5. 頒布品	485,255	○審判服・ルールブック等
6. 印刷費	103,785	○コピー・インク代等
7. 旅費・日当	961,000	○地域大会・審判講習会等派遣旅費等
8. 交際費・慶弔費	50,800	○慶弔費・最高顧問会合費
9. 雑費	173,990	○備品保険料・振込手数料等
支出計	12,116,707	

収入	15,977,917	
支出	12,116,707	
差引収支	3,861,210	⇒次期繰越金

第2号議案別紙①

全日本硬式空手道連盟公認商品

No	品番	品名	定価(税抜)	通常価格(税別) 全硬連非会員	全硬連会員(税抜)	備考
1	HGKP3-S-WH	K-3 硬式空手道グローブ S 白	¥16,500	¥12,375	¥12,375	
2	HGKP3-M-WH	K-3 硬式空手道グローブ M 白	¥16,500	¥12,375	¥12,375	
3	HGKP3-L-WH	K-3 硬式空手道グローブ L 白	¥17,500	¥13,125	¥13,125	
4	HGKP3-XL-WH	K-3 硬式空手道グローブ XL 白	¥17,500	¥13,125	¥13,125	
5	BPKP-XS-BURD	K-3 硬式空手道グローブ XS 黒(青/赤)	¥9,400	¥7,520	¥7,520	
6	BPKP-S-BURD	K-3 硬式空手道グローブ S 黒(青/赤)	¥9,400	¥7,520	¥7,520	
7	BPKP-L-BURD	K-3 硬式空手道グローブ L 黒(青/赤)	¥10,500	¥8,400	¥8,400	
8	BPKP-XL-BURD	K-3 硬式空手道グローブ XL 黒(青/赤)	¥10,500	¥8,400	¥8,400	
9	NGKO-S	全硬連・拳サポーター S	¥4,000	¥3,000	¥2,800	
10	NGKO-M	全硬連・拳サポーター M	¥4,000	¥3,000	¥2,800	
11	NGKO-L	全硬連・拳サポーター L	¥4,000	¥3,000	¥2,800	
12	NGKO-XL	全硬連・拳サポーター XL	¥4,000	¥3,000	¥2,800	
13	LG48-XS-KS	全硬連・レッグサポーター XS	¥4,000	¥3,000	¥3,000	
14	LG48-S-KS	全硬連・レッグサポーター S	¥4,000	¥3,000	¥3,000	
15	LG48-M-KS	全硬連・レッグサポーター M	¥4,000	¥3,000	¥3,000	
16	LG48-L-KS	全硬連・レッグサポーター L	¥4,000	¥3,000	¥3,000	
17	LG48-XL-KS	全硬連・レッグサポーター XL	¥4,000	¥3,000	¥3,000	
18	NG-IKG	インナーナックルガード	¥2,100	¥1,575	¥1,470	

第2号議案別紙②-1



第2号議案別紙②-2



「2026:第40回全日本硬式空手道選手権大会」要綱案

※二重下線は主要変更項目

1. 主催 一般社団法人全日本硬式空手道連盟
2. 後援 スポーツ庁（予定）
3. 日程 2026年8月8日（土）9時～18時（予定）個人組手試合
8月9日（日）9時～18時（予定）個人形試合・地区別団体組手試合
※集合時刻等詳細については、改めて各参加団体代表者の方にご連絡します。

4. 会場 国立代々木競技場第二体育館（東京都渋谷区神南 2-1-1）
Tel 03-3468-1171 JR 山手線原宿駅から徒歩 5 分

5. 参加資格 一般社団法人全日本硬式空手道連盟加盟団体の所属選手で選考を経た者。

※2025年5月16日～2026年5月15日に開催された大会成績等から以下①～④の順番で選考します。

選考結果は6月末頃に全硬連ホームページ上に発表いたします。

- ①全硬連地区大会（ブロック大会）の1～3位入賞者 ②全硬連都道府県大会の1～3位入賞者 ③全硬連加盟団体が主催・参画する大会の1～3位入賞者（ルールは全硬連ルールに準じるもの。単一流派内大会は不可）④全硬連加盟団体（会派）推薦者の中から大会実行委員会が選考した者

※上記にかかわらず、各地区連盟が推薦する選手1名に限り、出場権が付与されます。

6. 競技種目 個人組手試合、個人形試合、地区別団体組手試合

※年齢及び学年は2026年4月2日現在 / 全クラス有級有段混合

6-1. 個人組手試合【8月8日実施】 ※参加人数によりクラスの統廃合あり

	男子	女子
幼年	未就学児童（男女混合）	
小・中・高校生	学年ごとに1クラス	同左
一般1部	体重別3クラス (60kg以下、70kg以下、70kg超)	体重別2クラス (55kg以下、55kg超)
一般2部	40歳以上2クラス (70kg以下、70kg超)	40歳以上1クラス
一般3部	50歳以上2クラス (70kg以下、70kg超)	50歳以上1クラス
一般4部	60歳以上1クラス	

- ・体重別クラス（男子60kg以下、70kg以下、女子55kg以下）は当日体重を計量します。体重超過の場合は失格となります。

【競技方法】一般社団法人全日本硬式空手道連盟審判規定により行う。

<試合時間 / 流し> ※延長戦は1回のみ。但し、決勝戦のみ再延長戦を認める。

中学生以下：本戦1分30秒 延長戦1分

高校生以上：本戦2分 延長戦1分30秒

<防具・サポーター> ※貸出はしません。参加者が各自持参してください。

- ・ 面：Kプロテクター・空道面（マーシャルワールド社製）・スーパーセーフ（ウイニング社製）のいずれか。白色のものに限る。
- ・ 胴：Kプロテクター（赤青リバーシブル） 中学生以上は原則Lサイズ以上を着用。
※ただし中学生で身長150cm以下の選手はSサイズの着用も可とする。
中学生以下で身長125cm以下の選手はXSサイズの着用も可とする。
- ・ 拳サポーター：全硬連公認拳サポーターの着用を必須とする。
全硬連公認インナーナックルガードの着用は任意。
- ・ 脚サポーター：全硬連公認レッグサポーターの着用を必須とする。
- ・ 男子は必ずファールカップ着用のこと。

<ルール補足事項>

↓改訂後ルールブックに明記されているため、削除。

- ・ 足払いは一般の部のみ認める。肘打ちは反則。転倒した選手が相手の攻撃（寸止め）を避けるために突き蹴りを繰り返すことは可とするが、ポイントにはならない。

6-2. 個人形試合【8月9日実施】 ※参加人数によりクラスの統廃合あり

	男 子	女 子
幼 年	未就学児童（男女混合）	
小・中・高校生	学年ごとに1クラス	同 左
一 般	1クラス	同 左

【競技方法】 制限時間を超えた場合は失格。

- ① 1回戦～準々決勝：自由形（2分以内）※主審の合図から演武を終了し結び立ちになるまで
- ② 準決勝：自由形（2分以内）
- ③ 決勝・3位決定戦：自由形（時間制限なし）

※準々決勝までと準決勝からは別の形を演じなければならない（準決勝と決勝は同じ形でも可）。決勝進出のために最低2種類の形が必要。

※演武形申告リストは試合当日のコート集合時にコート役員に渡して下さい（申告リストを忘れた場合は当日コートにて記入）。

【重要】形試合出場選手（全クラス）は、赤帯・青帯（メーカー自由）の着用を必須とする。
帯の貸出はしないので、必ず持参のこと。

6-3. 地区別団体組手試合 【8月9日実施】

団体クラス	男子／体重無差別	女子／体重無差別
3名1組	6-7歳、8-9歳、10-11歳	同 左
3名1組	12-13歳、14-15歳、16-17歳	同 左
3名1組	18歳以上	同 左

○各地区連盟が上記の構成で1チームずつ組成する。

○延長戦は行わない。勝者数が同じ場合は、総得点の多寡によって勝敗を決する。

○試合時間 17歳以下・・・1分30秒 18歳以上・・・2分間

○各チーム1名の監督者立ち会いを可とする。

7. 参加費 1種目 6,000円、2種目 8,000円 ※弁当は各自ご用意下さい。
団体戦 1チーム 5,000円 (地区連盟がまとめてお振り込みください)

8. 参加申込方法

○専用フォーム (Excel ファイル) に入力し、各地区連盟事務局宛に E メールでお申込みください (詳細下記)。

○申込期限 (参加費振込期限) は 2025年5月16日 (土) 必着です。

○~~選考に漏れた選手については、参加費を指定の口座に返金します。~~

9. 大会審判員・運営役員ご協力をお願い

○参加申込時に、専用フォームの当該シートに入力してお送りください。

10. その他

○アンダーウェアの着用は、原則として男子は不可、女子は白色の T シャツに限る。アクセサリーも禁止。但し、ふくらはぎ等を保護するサポーター類 (金具等のないもの) は可。また、特別な事情がある場合は、コート長の了解を得て、男女とも白色等の長袖アンダーシャツを着用することができる。

○団旗は、地区連盟旗と都道府県連盟旗のみとし、会派旗の掲揚は禁止します。

○主催者が大会の様子を写真・動画撮影します。撮影した写真・動画は、ホームページ、SNS 等に掲載させていただきます。写真・動画に関する使用権は主催者に帰属します。

○申込・問合せは所属地区連盟事務局にお願いします。

・東北地区硬式空手道連盟

事務局 徳田 エリカ 申込アドレス sogobudorenmei@sirius.ocn.ne.jp

・関東甲信越地区硬式空手道連盟

事務局 奈良一 茂 申込アドレス iiiiiiiiii_11111111115383@yahoo.co.jp

・中部地区硬式空手道連盟

事務局 有賀 正孝 申込アドレス aruaru001@nifty.com

・近畿中国四国地区硬式空手道連盟

事務局 竹花 哲也 申込アドレス ttakehan@ybb.ne.jp

・全九州硬式空手道連盟

事務局 鶴本 貴祐 申込アドレス tsurumoto@yoshida-kigyo.co.jp

○参加費は、選考結果発表後、以下の大会専用口座にお振り込みください (通常の連盟口座には振り込まないでください)。

川口信用金庫 春日部支店 店番 040 口座番号 0187004 社) 全日本硬式空手道連盟
--

第2号議案別紙④-1

全日本硬式空手道連盟公認段位制度
(2025年度定時社員総会資料より)

【段位種類と審査】

段位	審査主体	審査内容
初段～2段	都府県連盟	実技試験
3段～4段	地区連盟	実技試験 ⇒改定点
5段～8段	全硬連	実技試験または書類審査
9段～10段	全硬連	書類審査
名誉段	全硬連	理事会決議

- 公認段位は全硬連加盟団体(会派)の希望者を対象としたもので、連盟内の役職や審判員資格とは連動しない。
- 全硬連が任意団体時代に発行した公認段位は有効とする。
- 審査員は、審査主体である各連盟理事会等が選任する。
- 実技試験は、原則として、形と自由組手とする。形を審査対象とするのは、単なる格闘技ではなく、空手道であることを確認するためであり、基本的に減点対象とはしない。主眼は飽くまで自由組手に置く。但し、受審者の年齢等を勘案し、自由組手に替えて約束組手を認める場合がある。
- 書類審査においては、硬式空手道の試合実績のほか、指導実績、審判実績等も勘案する。また、他のスタイルの空手道での実績も参考にする。
- 名誉段は、協賛等により当連盟に多大な貢献をした者に対して授与する。

【受審者の資格基準】

段位	受審基準	年齢
初段	会派1級以上取得者	満15歳以上かつ義務教育修了者
2段	初段取得後1年以上	
3段	2段取得後1年以上	満18歳以上
4段	3段取得後2年以上	満23歳以上
5段	4段取得後3年以上	満30歳以上
6段	5段取得後5年以上	満36歳以上
7段	6段取得後6年以上	満43歳以上
8段	7段取得後7年以上	満50歳以上
9段	定めず	満70歳以上
10段	定めず	満80歳以上

- 少年段位は設けない。

【費用】

段位	受審料	登録料
初段	10,000 円	15,000 円
2 段	10,000 円	15,000 円
3 段	15,000 円	15,000 円
4 段	15,000 円	15,000 円
5 段	20,000 円	20,000 円
6 段	20,000 円	20,000 円
7 段	30,000 円	30,000 円
8 段	50,000 円	50,000 円
9 段	100,000 円	100,000 円
10 段	100,000 円	100,000 円

- 受審料は審査主体が受領し、登録料は全硬連が受領する。
- 不合格の場合、登録料は徴収しない。
- 登録料には、免状代（含 郵送料）を含む。
- 名誉段は無料とする。

改定点

【経過措置】

- 2025 年度・2026 年度に限っては、全硬連公認段位の有無にかかわらず、各流派で取得している段位と同じ段位を受審することができる。
- 経過措置期間中は、4 段以下でも書類審査を適用する場合がある。
- まずは、地域連盟（地区連盟・都府県連盟）の審査員候補者に対する審査を実施する。これにより、各地域連盟の審査員が 4 段以下の審査を行うことが可能となる。

以上

第2号議案別紙④-2

全硬連公認段位制度審査ガイドライン（案）

1. 段位種類と審査

段位	審査主体	審査内容
初段～2段	都府県連盟	実技試験
3段～4段	地区連盟	実技試験 <u>但し4段は書類審査も可</u>
5段～8段	全硬連	実技試験または書類審査
9段～10段	全硬連	書類審査
名誉段	全硬連	理事会決議

<制度改定点>

- ① 経過措置として、2025年度から2027年度においては、全硬連公認段位の有無にかかわらず、各流派で取得している段位と同じかそれ以下の段位を受審することができる。
- ② 4段は、経過措置経過後も書類審査を可とする。

2. 審査ガイドライン

- ① 原則実技審査とするが、4段以上は、高齢・身体具合等の理由により書類審査を認める場合がある。
- ② 4段以下は地区連盟、2段以下は都道府県連盟で審査するが、合同で実施することも可（審判講習会と同じ）。
- ③ 審査員は、各連盟執行部が選任する（公認段位の保有は必須ではない）。
- ④ 実技審査は、自由形1つ、自由組手2回。下位の段位から審査を始める。
- ⑤ 形は、審査における加点要素とする（減点要素とはしない）。
- ⑥ 組手試合の審判は主審1名のみ。試合中、技が入ったり、場外になったりした際に「やめ」をかけるが、ポイントは取らない（技の有効性は審査員が判断する）。試合時間は1～2分。審査委員長が十分と判断した時点で、主審に試合終了の合図をする。
- ⑦ 組手試合の対戦相手は男女別とし、受審段位順>年齢順とする（例えば、3段受審者を年齢順に並べ、年齢の若い順から対戦させる）。但し、同一受審段位の中で年齢差が大きい場合等は、適宜調整する（例えば、4段を受審する者が50歳台の者と20歳台の者しかいない場合で、3段受審者に50歳台の者がいれば、50歳台の者同士で対戦させる等）。あるいは、審査側で対戦相手を用意することも可。
- ⑧ 高齢などの事情により、自由組手に代えて約束組手を申請することもできる。約束組手のスタイルは自由。約束組手の相手は受審者が用意する。

以上

2026年度 事業計画

月	日(曜日)	事業名	場所
1月	12日(月・祝)	風林火山第24回全国・国際武道空手道交流大会	国立代々木競技場第二体育館
	25日(日)	第39回宮崎市スポーツ少年団総合スポーツ大会土学館空手道交流大会	宮崎市佐土原体育館
	25日(日)	東京都審判講習会	エネクルスポーツアリーナ草加
	31日(土)	第1回硬式空手道&フルコン空手道選手権大会	東京武道館
2月	1日(日)	第3回青少年育成硬式空手道交流大会	横浜武道館武道場
	11日(水・祝)	第1回おんせん県おおいた空手道交流大会	コンパルホール体育館
	11日(水・祝)	第4回三重県硬式道選手権大会	四日市市三滝武道館
	21日(土)	全硬連定時社員総会	TKP秋葉原カンファレンスセンター
	22日(日)	全国審判技術講習会・公認審判員認定試験	台東リバーサイドスポーツセンター
	22日(日)	第3回東京都硬式空手道選手権大会	大森スポーツセンター
3月	15日(日)	第1回神奈川県硬式空手道チャレンジカップ	神奈川県立スポーツセンター
	15日(日)	第18回全日本総合武道選手権大会	福島トヨタクラウンアリーナ
	22日(日)	第4回愛知県硬式空手道選手権大会	名古屋市守山区志段味スポーツランド競技場
	29日(日)	第37回西日本オープン硬式空手道選手権大会(岡山県大会)	岡山武道館
4月	5日(日)	九州地区審判技術講習会・公認審判員資格認定試験	宇城市 松橋中学校
	12日(日)	関東甲信越地区審判講習会	バルドラール浦安
	26日(日)	第4回近畿中国四国地区硬式空手道選手権大会	大阪府守口市市民体育館
5月	2日(土)	関東甲信越地区硬式空手道選手権大会	東京武道館
	17日(日)	第2回硬式空手&フルコン空手グランドフェスティバル	駒沢オリンピック公園体育館
	17日(日)	第4回福岡県硬式空手道選手権大会	みやま市総合市民センター
	24日(日)	第2回モンスタートーナメント国際硬式空手道選手権大会	平塚市総合体育館
	24日(日)	第2回高知県硬式空手道選手権大会	高知県須崎市よこなみアリーナ
31日(日)	中部硬式空手道連盟審判講習会	名古屋市露橋スポーツセンター	
6月	7日(日)	第29回熊本県硬式空手道選手権大会	ウイングまつばせ
	21日(日)	第4回茨城県硬式空手道選手権大会	ニューライフアリーナ龍ヶ崎
	28日(日)	第20回土学館杯ひむか空手道選手権大会	宮崎県武道館
	28日(日)	埼玉県審判講習会	春日部市民武道館
未定	第4回鹿児島県硬式空手道選手権大会	志布志市立有明小学校	
7月	12日(日)	第6回福島県硬式空手道選手権大会	福島県二本松市城山総合体育館
	12日(日)	第5回宮崎県硬式空手道選手権大会	宮崎県体育館
	19日(日)	第60回剛武館東日本空手道選手権大会兼2026宮城県硬式空手道大会	
	未定	全硬連公認段位審査会(三段以上)<5日か20日の見込み>	未定
8月	8日(土)	第40回全日本硬式空手道選手権大会(組手個人戦)	国立代々木競技場第二体育館
	9日(日)	〃 (形個人戦・組手団体戦)	〃
9月	13日(日)	埼玉県硬式空手道選手権大会	ウイングハット春日部
	27日(日)	第5回WMKO世界マーシャルアーツ武道空手道選手権大会	代々木第二体育館
	未定	第2回宮崎県武神空手道選手権大会	未定
10月	4日(日)	第28回東北硬式空手道選手権大会(仮)	NCVふくしまアリーナ
	4日(日)	合戦～松橋の戦い～第10回 正流拳体力別空手道大会	ウイングまつばせ
	4日(日)	第4回東京都硬式空手道選手権大会	東京武道館
	25日(日)	第26回全日本剛柔流空手道選手権大会	
	未定	2026空真会武道空手道選手権大会	みやま市総合市民センター
未定	第5回愛知県硬式空手道選手権大会	未定	
11月	8日(日)	第4回大阪府硬式空手道選手権大会	大阪府守口市市民体育館
	15日(日)	第73回春日部市空手道選手権大会	ウイングハット春日部
	29日(日)	第5回全九州硬式空手道選手権大会	ウイングまつばせ
	未定	第5回三重県硬式空手道選手権大会	未定
12月	6日(日)	第5回古鷹杯少年少女防具付空手道大会	広島県 江田島市武道館
	27日(日)	第15回全日本ジュニア硬式空手道選手権大会&第2回硬式空手新人王決勝トーナメント	ニューライフアリーナ龍ヶ崎
	未定	第5回千葉県硬式空手道選手権大会	未定
27/1月	17日(日)	第23回風林火山全国国際武道空手道交流大会	国立代々木競技場第二体育館
	30日(土)	第2回硬式空手道&フルコン空手道選手権大会	東京武道館
27/2月	未定	全硬連定時社員総会	未定
	未定	全国審判技術講習会・公認審判員認定試験	未定
27/3月	14日(日)	第5回中部硬式空手道選手権大会	名古屋市守村スポーツセンター
	14日(日)	第19回全日本総合武道選手権大会	福島トヨタクラウンアリーナ
	28日(日)	第38回西日本オープン硬式空手道選手権大会(岡山県大会)	岡山武道館

2026年度 収支予算(案)

(収入の部)

(単位:円)

項目	金額	内訳等
1. 年会費	1,085,000	○個人年会費 485,000 ○都道府県連年会費 600,000
2. 連盟協賛金	1,200,000	
3. 事業収入		
①一般	1,470,000	○全国審判講習会 200,000 ○地域連盟認定証 50,000 ○女性委員会 20,000 ○公認段位認定料 1,200,000
②全日本大会	8,000,000	○参加料 3,500,000 ○助成金(JSC) 4,000,000 ○駐車料等 500,000
4. 頒布品	353,000	○ルールブック 50,000 ○審判服・エンブレム 300,000 ○送料 3,000
5. 雑収入	538,000	○ロイヤリティー等 300,000 ○総会后懇親会参加料 238,000
6. 前期繰越金	3,871,210	
収入計	16,517,210	

2026年度 収支予算(案)

(支出の部)

(単位:円)

項目	金額	内訳等
1. 事務費	150,000	○文具・消耗品等 50,000 ○各種事務処理費 ・登記費用・外注費等 100,000
2. 通信費	300,000	○郵送料等 100,000 ○ホームページ 200,000
3. 会議費	600,000	○会場使用料・懇親会費等 600,000
4. 事業費		
①一般	280,000	○全国審判講習会 250,000 ○女性委員会 30,000
②全日本大会	9,500,000	○会場使用料(含 駐車場) 1,400,000 ○審判員謝金 1,200,000 ○昼食費・懇親会費 1,000,000 ○審判員旅費 1,200,000 ○スタッフ謝金 900,000 ○メダル 500,000 ○参加賞 500,000 ○大会プログラム(パンフレット) 500,000 ○広告宣伝費(撮影・マガジン) 350,000 ○会場設営費 350,000 ○その他 1,600,000
5. 頒布品	200,000	○ルールブック・審判服等 200,000
6. 印刷費	100,000	○コピー・インク代等 100,000
7. 旅費・日当	1,000,000	○地域大会・審判講習会等派遣旅費 1,000,000
8. 交際費・慶弔費	50,000	○慶弔費・最高顧問会合費 50,000
9. 雑費	180,000	○備品保険料・振込手数料等 180,000
10. 予備費	4,157,210	
支出計	16,517,210	

収入 16,517,210

支出 16,517,210

差引収支 0